

タイで東北一体となったプロモーションを実施しました (4月30日～5月2日)

●東北PRイベント「日本東北観光フェア」を開催（4月30日・5月1日）

タイ市場における東北の知名度向上を目的に、バンコクにおいて東北PRイベント「日本東北観光フェア」を開催しました。イベントの開催に合わせて、官民で計70人を超える関係者が現地に渡航し、東北一体となったプロモーションを実施しました。

日タイ両国の水際措置終了による訪日旅行の需要の高まりや、現地旅行会社による旅行商品の増加等を背景に、2日間で約1.6万人の来場者数となるなど、東北の魅力を伝える効果的な情報発信の機会となりました。また、出展を行った旅行会社に多くの旅行商品や航空券等の予約が入るなど、東北への実際の訪問に繋げることができました。

会場では、宮城県・秋田県・山形県・福島県・仙台市の観光PRブースに加え、民間企業、タイ現地航空会社・旅行会社の計19団体がブース出展した他、東北のワークショップや福島県只見線の風景を背景にしたフォトスポットなどにも注目が集まりました。タイの著名な歌手やインフルエンサーによるステージでのパフォーマンスや観光紹介の人気も高く、ステージ毎に多くの人が集まりました。4月の招請で取材したインフルエンサー（3ページ参照）も登壇し、東北の桜など最新の情報を写真や動画を交えて紹介しました。



【オープニングセレモニー 集合写真】



【ゆるキャラとの写真撮影】



【東北観光案内カウンター】



【インフルエンサーによるPR】



【ステージの様子】

●東北観光セミナー・商談会・交流会（5月2日）

タイ現地の旅行会社に対し、東北及び各県市のプレゼンテーションや商談会、交流会を実施。当日は40名を超える現地旅行会社・メディアが参加しました。

セミナーでは、説明の様子を動画で撮影する担当がいるなど、タイ側の参加者が熱心に参加している様子が見られた他、日本の自治体・民間企業9団体が参加した商談会では、東北・タイ双方の参加者が積極的な商談を行い、訪東北の旅行商品造成促進の契機となりました。



【東北観光セミナー】



【商談会】

●現地関係機関訪問（5月2日）

「日本東北観光フェア」及び東北観光セミナー等の実施に合わせ、連携自治体等と共に東北一体でタイ国政府観光庁およびタイ国際航空を訪問しました。

タイ国政府観光庁では、東北とタイの相互交流の促進について意見交換を行った他、タイ国際航空に対してはバンコク＝仙台線の再開を要請するなど、今後の定期便就航に向けての働きかけを行いました。



【タイ国政府観光庁】



【タイ国際航空】

フェニックスアワード2022 受賞団体決定！

「フェニックスアワード」は、東北・新潟に関わる観光振興を通じ地域の活性化に貢献し、その功績が顕著であった団体・個人の皆様を表彰し、さらに当地域の観光発展に寄与することを目的として2020年に創設されたもので、今回が3回目の開催となりました。

東北観光推進機構理事・監事で構成される「東北観光推進機構選考委員会」による選考の結果、今回は3組の受賞を決定いたしました。

受賞された皆さま、おめでとうございます！

なお、表彰式は6月5日に東北観光推進機構の第7回通常総会内にて行う予定です。

今回は多くの皆さまからご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

一般社団法人Clan PEONY 津軽（津軽エリア内体験型商品予約DX化事業）

✓津軽エリア内の体験型商品を
ツガルツナガル体験ページ
（青森県津軽地域観光情報サイト
Time Trip TSUGARU内）
から一元的に予約できるようにした。

ツガルツナガル体験



✓サイトへの掲載は無料とし、成約件数に応じた
手数料（大手 OTA よりも 2 %ほど割安）を
DMO が徴収する仕組み。

✓販売データや流入分析を行い、販売商品の
プロモーションにも役立てている。

株式会社かつの観光物産公社（地域の資源を有効活用した多角的な誘客事業）

✓鹿角市にある3つのユネスコ無形文化遺産
（大日堂舞楽、花輪ばやし、毛馬内盆踊り）の伝統文化の継承
と共に継続的な誘客に繋げることを目的として
イベントを実施した。

✓市民の「地域を想う気持ち」の醸成やSDGs貢献の一環として
地域の資源を有効活用するイベントを企画した。

✓「稼ぐ文化」による好循環や次世代への継承、他市町村との
差別化による着地型観光への転換を図るため、
大湯環状列石をより深く、よりリアルに伝える
体験プログラムを造成した。



小岩井農牧株式会社観光部（小岩井農場めぐりバスツアー【SDGs 自己探究】コース）

✓小岩井農場が昔から行ってきた営みをSDGs と関連付けて
学習プログラムとして展開した。

✓循環型社会への取り組み、畜産農業の活性化、観光交流人口の
拡大など、持続可能な地域観光の中心的な役割を果たしている。

✓プログラム自体は2009 年から続いているが、
2021 年には教育現場での「探究学習」ニーズの
高まりにこたえて「【自己探究】コース」を設定した。



仙台（4月28日）・花巻（5月10日）・新潟（5月12日）各空港に国際線定期便が再就航しました！

4月28日に仙台国際空港と韓国・ソウルを結ぶアジアナ航空の国際定期便の運航が再開しました。新型コロナウイルスの影響で運休した2020年3月以来、約3年振りの再開となります。また5月10日には花巻空港と台北、12日には新潟空港と台北をそれぞれ結ぶタイガーエア台湾が再就航しました。花巻空港に関しては、約3年2か月振りの再開となりました。仙台国際空港と花巻空港では記念セレモニーが開催され、両空港では再開初便にて来訪した多くの訪日旅行者を含め大変賑わいました。

東北全体では国際定期路線が仙台＝台北、仙台＝ソウル、花巻＝台北、新潟＝台北の4路線・週24往復まで回復し、東北への外国人旅行者数の増加が期待できます。直行便の就航はインバウンド事業に大きな効果が期待できるため、インバウンドに加えアウトバウンドに対してもしっかりと取り組むことで、東北への国際定期路線の維持拡大を目指し往来の活発化を図ってまいります。



【仙台国際空港での記念セレモニー】



【花巻空港での式典】



【新潟空港でのお出迎え】

G7にあわせて設置されたインフォメーションブースで東北をPRしました（5月12日～14日）

G7仙台科学技術大臣会合の開催期間中に、仙台駅の「ヨリ未知ポータル」に設置されたインフォメーションブースおよびメイン会場である秋保温泉の「伝承千年の宿 佐勘」に設置されたPRブースにおいて、海外から来仙した関係者やプレスの方々に向けて、東北の四季動画放映および多言語版の東北観光パンフレットや「TOHOKU Fan Club」チラシの配布を行い、東北の観光情報および東北の魅力を発信しました。

今後も地域の皆さまと連携しながら東北の情報発信ならびに誘客促進に努めてまいります。



【仙台駅に設置されたインフォメーション】



【ブースの様子】

陸前高田教育旅行誘致部会で講演を行いました（4月4日）

岩手県陸前高田市にある(株)ワタミオーガニックランドで、現地の教育旅行受入事業者様からお招きいただき講演を行いました。

内容としては、近年の新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえた教育旅行の状況や、商談会・セミナー・招請事業等の東北観光推進機構の昨年度の取組のご紹介をしました。また、2泊3日程度の旅程の中でどのように効率的に各種のコンテンツを学習・体験できるかが教育旅行では重要となるので、地域が一体となって面的誘致を行うことと、動線を想定した地域間の連携が重要である旨もお話しました。

今後も東北側受入事業者様との連携を深め、教育旅行の東北・新潟への面的誘致を進めてまいります。

岩手県教育旅行誘致宣伝部会総会及びセミナーへ参加しました（4月17日）

盛岡地域交流センター（マリオス）で開催された岩手県教育旅行誘致宣伝部会総会に参加し、今年度、東観推が計画する教育旅行セミナーについての説明を行いました。

今年度の教育旅行事業をスムーズに進めるため、東観推が実施する教育旅行活動の協力を依頼するとともに、リアルで部会員の方々と活発に意見交換を行うことで、誘致宣伝部会との連携強化を図りました。

また、後半の「教育旅行セミナー」では、講師として、近畿日本ツーリスト株式会社 札幌団体旅行支店の北畠奈氏が招聘され、演題「札幌市場における修学旅行の変化と課題」についての講義がありました。

東北の教育旅行の場合、2県を組み合わせた周遊コース（例 ①岩手＋②秋田、①岩手＋②青森など）が主流であることから、東北管内の連携が不可欠であるほか、県単独の力では満足度Pの高い教育旅行の実現は困難な印象を受けました。東観推として広域的な視点での助言や調整を行えるよう、今後の教育セミナーの開催に向けて準備を進めてまいります。

東南アジアインフルエンサー招請（4月7日～11日）

シンガポール・インドネシア市場における東北の知名度向上を目的に、現地からメディア・インフルエンサー3名を招請し、東北の桜をテーマに宮城県・福島県・新潟県での取材を実施しました。

東北のダイナミックな桜の風景に感動しており、各所で長時間にわたってインパクトのある桜の写真を撮影した他、「花見」「レトロ・歴史ある建物」「城」「神社」「旅館」「日本食」といった日本らしさを感じられる場所にも注目しており、様々な角度から撮影をしていました。

Instagramに投稿した桜や花、旅館等に対する画像や動画へのユーザーの反応も良好で、既に招請の効果が確認されています。

今回、全員が桜の時期の日本を取材するのは初めてとのことでモチベーション高く取材していただくことができ、また、この時期は他の地域のプロモーションも比較的少ないことから、春季に招請事業を実施する効果の高さが実感できる招請となりました。東南アジア各国における東北の知名度向上を図るため、引き続きメディア・インフルエンサーを活用した情報発信を行ってまいります。



【日中線しだれ桜並木】

タイインフルエンサー招請（4月17日～21日）

訪日旅行の需要が高まるタイにおける、東北の知名度向上を狙いとし、タイのソンクラーン休暇の時期に満開となる東北の桜をテーマに、タイ現地からインフルエンサー3名を招請。山形県・宮城県・秋田県の取材を実施しました。今年は桜の開花時期が早まったこともあり、やや桜の見ごろは過ぎていた箇所もありましたが、所々で桜吹雪など東北の桜の魅力を取材してもらうことができ、各所で長い時間をかけてタイの消費者に刺さるような映える写真を撮影してもらいました。

また、桜の写真に加えて、各インフルエンサーから好評だったのが、秋田犬や狐といった動物のコンテンツとみちのく湖畔公園などの花です。SNSでの投稿後の現地の反応も良く、今後の東北のキラーコンテンツとして期待ができます。

今回招請を行った3名には、バンコクにて開催した「日本東北観光フェア」においてもステージで取材内容の紹介を行ってもらい（1ページ参照）、現地での反応も良好でした。今後も招請事業と他のプロモーションの相乗効果が出せるよう取り組みを進めてまいります。



【縁（秋田犬のふれあい体験）】

香港インフルエンサー招請（4月17日～21日）

香港においては、SNSを用いて旅行先の情報収集をする傾向が高く、インフルエンサーが強い影響力を持つことなどを踏まえ、香港現地からインフルエンサー2名を招請しました。

今回は、東北の桜を主なテーマに宮城県・岩手県・秋田県・青森県を視察しました。特に、桜が見頃を迎えていた宮城県の塩竈神社、秋田県の角館武家屋敷や桧木内川、青森県の弘前公園が好評であり、真剣に撮影に臨む招請者の姿やその表情から、東北の桜が強い訴求力を持つことを改めて認識しました。また、東家でのわんこそばの食事体験や、神秘的な雰囲気のある鶴の舞橋も非常に好評であるなど、視察全体を通して、今後の情報発信に期待が持てる招請となりました。

香港現地からは既に多くの訪日観光客が来ていることから、東北が第一のデスティネーションとなるよう、引き続き強くプロモーションしてまいります。



【角館武家屋敷の桜】

2023年度第1回行政観光戦略会議を開催しました（4月27日）

東北6県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆様と共に会議を開催しました。

「2022年度事業報告」「2023年度事業計画」「大阪・関西万博への対応」などについて意見交換を行いました。今年度は第5期中期計画の折返し地点であり、引き続き広域かつ長期的な視点を大事にして、積極的に連携を図りながら観光振興を進めてまいります。

津軽観光キャンペーンオープニングセレモニーに参加しました（4月1日）

一般社団法人Clan PEONY 津軽とJR東日本秋田支社の連携による津軽観光キャンペーン「ツガル ツナガル」が4月1日から始まり、JR弘前駅前で行われたオープニングセレモニーに青森県副知事、東北運輸局観光部長とともに紺野理事長が来賓として参加しました。

弘前ねぶた囃子・五所川原立佞武多囃子によるオープニングアトラクションで華々しくスタートしました。

6月30日まで津軽圏域が盛り上がります。この機会に皆様もぜひ足をお運びください。

ツガル ツナガル



【キャンペーンロゴ】



【オープニングの様子】



【芦野公園の桜】

海外に向けてSNSで東北の観光情報を発信しています

東観推ではFacebookやInstagram、Weiboを活用して日本国内及び海外に向けて観光情報を発信しています。4月は各SNSともに、桜など春の風景を中心に発信しました。桜に関する投稿は非常に多くの人に反応いただき、関心の高さが伺えました。東北には鶴ヶ城や一目千本桜、北上展勝地、弘前公園など各地に桜の名所があり、さらに南北に広いことから長い期間桜を楽しむことができます。今年見るできなかった方はぜひ来年お楽しみください。

また、日本語のFacebook、Instagramでは「#東北PR局」のハッシュタグが付いた投稿を紹介しています。皆さまぜひ、「#東北PR局」を付けて東北の魅力を発信してください！

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram（tohokutourism）英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram（東北旅遊）香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo（日本東北玩楽GO）】 https://weibo.com/lvdongbei	



【鶴ヶ城】



【五泉市チューリップまつり】



【高山稲荷神社】

第1回海外市場担当者会議（オンライン）を開催しました（4月14日）

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者と共に会議を開催しました。この会議は東観推と各行政の担当者間における情報共有と活発な意見交換を目的に2か月に1度実施しています。

第1回目となる今回は、2023年度訪日プロモーションにおける行政との連携状況や各市場（台湾・タイ・中国・韓国・東南アジア・香港・欧米・スノー中国・スノー豪州）における事業内容の詳細について、共有し意見交換を行いました。また、行政側においても特に台湾を重点市場と位置づけており、台湾事業については各行政との連携を更に深め、規模を拡大して効果を高めていきます。

今年度については、インフルエンサー招請事業の拡大や現地旅行博への出展など、個人型へのプロモーションを強化し遂行できるようしっかりと連携を図ってまいります。

TOHOKU Fan Club CRMシステムのご利用について

●TOHOKU Fan Clubで情報を発信してみませんか？

東北ファンであるTOHOKU Fan Clubの会員に地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしていませんか？アンケートは、ターゲットを絞って回答を依頼することもでき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用することができます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動させることで、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。投稿とオファーについては、東北観光推進機構の会員区分に応じて、一定回数無料でご利用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

	① 投稿	② アンケート ※4月1日から料金を改定しています	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (≒Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ作成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料	10問まで 15万円 + ポイント原資 30問まで 35万円 + ポイント原資	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料



【お問い合わせ先】東北ブランド戦略部 E-mail brand@tohokutourism.jp

【4/12の投稿
「弘前さくらまつり」】

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【お申し込みはこちらをご覧ください】

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0443/443_101_file.pdf



「旅東北NEWS」VOL.056 2023年5月19日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！